

令和7年度第3回泉大津市男女共同参画審議会 議事要旨

1. 会議概要

- 日時:令和7年10月15日(水)午前10時~
- 場所:泉大津市役所 職員会館3階集会室
- 審議会委員出席者:岡崎会長、岩田副会長、加藤委員、上中委員、中下委員、山田委員、寺田委員、花見委員、國安委員、西上委員
全10名のうち、出席10名
- 事務局出席者:政狩市民生活部長
- (人権くらしの相談課) 深澤課長、寺内課長補佐、田中係員
- 傍聴者:なし

2. 主な審議内容

(1)追加アンケート及びヒアリング結果

【資料のあり方について】

- 調査データから「何を読み取ったか」の分析資料の追加を要望
- 事業者アンケートは企業規模を考慮した分析が必要
- 就業規則の有無など、企業の基礎的な状況把握が重要
- 次の計画で重要となるポイントの明示を要望

【子育て世代の理想と現実のギャップ】

- 家事・育児の分担満足度:男性80%、女性59%と大きな差
- 男女間の満足度のギャップをどう埋めるかが重要課題
- 社会構造の影響についてエビデンスに基づく分析が必要
- 「家事」の定義を明確にした上での調査設計を提案
- パートナー間のコミュニケーションを計画に織り込む必要性

(2)第4次計画素案

【章立て・構成の改善】

- SDGsのイラストは不要、文章のみで十分
- 全国的動向より泉大津市の状況をメインに記載すべき

- 相対的貧困率など泉大津市の実態データを重視
- 行政の相談窓口「届く」ことの重要性を強調

【計画の基本的な考え方】

- 「めざす姿」をより具体的に示す必要性
- 「自分の暮らし方を選択できる状態」を目標とする提案
- 男性を否定せず、わかりやすく市民に届く表現を工夫
- 兵庫県豊岡市の先進事例:女性の流出に危機感を持ち7年かけて改善

【企業への働きかけ】

- 「政治的に正しいから」ではなく、企業メリット(人手不足対応等)を示す
- 市役所が率先して取り組み、ノウハウを共有する姿勢が重要
- 補助金など即効性のある支援策の検討を提案
- 女性活躍推進企業の誘致や資格取得支援のアピール強化

【男性への働きかけ】

- 男女で視点の違い:男性は「イベント増加」、女性は「家庭内での話し合い」を重視
- セミナー等の場を提供するだけでなく、家庭内での実践につながる内容が必要

【その他の重要ポイント】

- 一人暮らしの女性への支援を計画に明記
- 「女性を主語にする」表現は避け、男女関係なく全員を対象とする
- 10年後を見据えた計画として「男女共同参画」というタイトル自体の再検討も視野

【計画書のデザイン・周知】

- 若い世代が手に取りやすいよう、計画書を薄くする工夫が必要
- 概要版の作成とパブリックコメントの実施を予定
- 若い世代から意見を集めるための具体的な工夫を要望

3. 今後の予定

第4回審議会:令和8年1月(日程調整中)

修正案の提示と最終審議を予定

以上